

烏帽子の会による木曾川源流「水木沢天然林」散策

2015年11月3日

烏帽子の会 11月例会は木曾川源流「水木沢天然林」の散策で実施された。午前7時に松川道の駅に16名が集合、久しぶりの大勢の参加で、にぎやかに3台の車に分乗し、水木沢天然林管理棟に8:50到着、ガイドの湯川さんの案内に従って9:00に「源頭の森コース」を出発。樹齢200年以上のヒノキやサワラの木が林立する中、まず巨大ミズナラに出会い、続いて巨大ブナに出会った。その後樹齢550年の大サワラに出会い、サワラは沢に多い、あるいは木肌がさわらかな事にその名を有すと説明を受けた。



また花は2つで実が1つと言うツルアリドウシと言う実も説明を受けた。



広大な天然林の中に一部ヒノキを植樹した人工林も見受けられた。」

道々説明を受けた物を熱心に検証しながら進む一行途中落ち葉も沢山ある中、色々な種類についても説明を受けたが、覚えきれず、唯一葉の裏が白いものはホウの木の葉っぱである事が頭に残った。

ゆっくりと歩く事2時間強、11:10に水木沢源頭に到着、源泉の新鮮な水を味わい、ペットボトルに汲み入れ、次の目的地展望台に向った。展望台には12:15到着木曾駒ヶ岳をはじめ中央アルプスを眺めながらの贅沢な昼食中にサプライズ的な行事発生。本日還暦誕生日のA. KさんのためにMさん夫妻がバースデイケーキを持参、Kさんによるケーキカットの儀式を実施。またSさん準備による甘酒も振舞われ豪勢な昼食となった。



水木沢源頭にて



中央アルプスをバックに



ケーキカットのA. Kさん
還暦誕生日おめでとう



Sさんご提供の甘酒



頂上に雲を被った木曾駒ヶ岳と中央アルプスの山々

頂上は雲に隠れていたが、木曾駒ヶ岳をはじめ中央アルプスの山々の眺望を楽しめた。

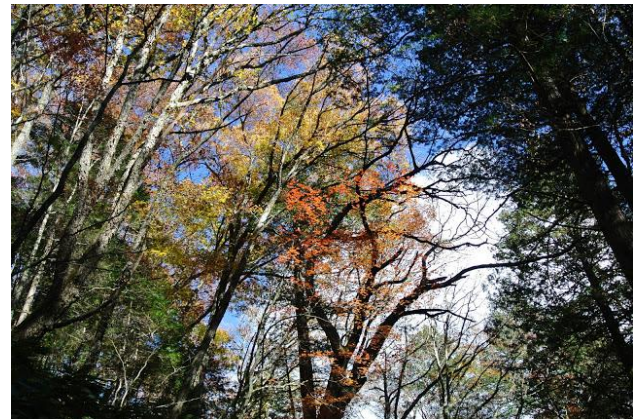


明治以降皇室所有の重要な森林を御料林と呼んでおり、その三角点は現在の国土地理院ではなく御料局三角点として残っている。

13:00 に展望台出発、次は「原始の森」コースを歩行して 14:00 出発点の管理等へ到着。



樹齢 500 年の大トチノ木



わずかに残った紅葉と青空



沢山の内容を学ぶうんと賢くなって大満足の面々

戦国時代に乱伐された木曾の名木を守るために、江戸時代に入り、尾張藩にて木曾 5 木が制定され、その伐採が禁止された。5 木とはヒノキ、サワラ、ネズコ、アスナロ、コウヤマキである事を学び、長野県水木沢源頭の水は岐阜県・愛知県・三重県 4 県をまたいで全長 229km で伊勢湾に注ぐ事も学んだ。

奈川の渋沢温泉（ウッディーモック）にて歩き疲れの癒しと勉強記憶の回想をして、松川道の駅に 17:00 到着。秋晴れの中、頭の訓練と心地よい歩き

とで皆さん大満足でそれぞれ帰宅の徒についた。

K さんご夫妻、本日の教育充実の森林山行のお世話ご苦労様でした。そして楽しい試み有難うございました。

「落葉松の じゅうたん踏みしめ 木曾川の 源流散策 さわやかなりき」